

医療事故・災害対応セミナー2026

(テーマ) 医療事故・災害時の心理学からみた対応のあり方 —患者と医療従事者のための心理的対応

会 場： 東京大学医学部 1 号館 3 階講堂

期 間： 2026 年 10 月 17 日 (土) 10:00 - 16:00

主 催： 医療安全心理・行動学会

(趣旨) 医療事故に遭った直後およびその後には、患者・家族に甚大な心理的被害が発生します。同時に、医療従事者にも自殺などの深刻な心理的被害が発生し、その悩みは 2 次被害(セカンドビクティム)として広く世界に知れ渡っています。

また、災害に遭遇した際にも深刻な心理的被害が発生します。

本研修会は、医療事故に遭遇した患者・家族および医療従事者に発生する深刻な心理的被害、ならびに災害遭遇者での心的被害に対して、臨床心理的な観点から、対応と心のケアのあり方を講義します。

(受講対象者) 医療安全心理・行動学会の会員、MSP0国際評議員、日本医療安全推進学会の会員、国際医療リスクマネジメント学会の会員、統括医療安全管理者、医療全管理者、臨床リスクマネージャー、医薬品安全管理者、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、歯科医師、臨床工学技士、放射線技師、歯科衛生士、医療従事者、医療産業従事者。

プログラム

2026年 10月 17日 (土)

- | | |
|-------------|--|
| 10:00-10:50 | 心理的対応 (サイコロジカル・ファーストエイド: PFA) の概要
大沼麻実 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部 災害等支援研究室室長) |
| 11:00-12:00 | 事故後の精神的反応 — 職場における災害時のこころのケアマニュアルの概要 —
迫田典子 (獨協医科大学看護学教授、医療安全。国際医療安全推進機構理事長補佐) |
| 13:00-13:50 | 臨床心理士によるケア・アプローチ
平井理心 (筑波大学付属病院臨床心理士、医療安全心理行動学会理事) |
| 14:00-14:50 | 医療事故後の不安に対するカウンセリング受診の目安 — 医療系弁護士の立場から
井上清成 (医療安全系弁護士、医療安全心理・行動学会理事) |
| 15:00-16:00 | アタッチメントスタイル面接と安全行動
平井理心 (筑波大学付属病院臨床心理士、医療安全心理・行動学会理事) |

参加申込締切: 2026年 10月 1日 (木)

参加費は下記URLより申込書をご覧ください。

医療事故・災害対応セミナー2026

医療安全心理・行動学会 事務局

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部心理学教室

(電子メール) msspsyb@mspo.org

ホームページ <https://mspo.org/msspb/Seminar/DISAS2026/>

